

2025 年 7 月 28 日

株式会社東証コンピュータシステム
サイバーリーズン合同会社

東証コンピュータシステムとサイバーリーズン、セキュリティ製品における協業を発表

証券・金融業界に IT システムやサービスを提供する株式会社東証コンピュータシステム（本社：東京都港区 代表取締役社長 竹林 義修、以下 TCS）と、セキュリティプラットフォーム「Cybereason（サイバーリーズン）」の日本市場での提供およびそれに付帯する事業を展開するサイバーリーズン合同会社（本社：東京都中央区 代表執行役員社長 桜田 仁隆、以下サイバーリーズン）は、「Cybereason」において業務提携を締結し、金融業界へのさらなる販売拡大を図ることを発表します。



右) サイバーリーズン 第一パートナー営業
部長 榎本 互

左) 東証コンピュータシステム 取締役兼専
務執行役 小谷 知哉

■ 証券・金融業界で培った TCS セキュリティソリューションの他業界への転用

時代はいま、ICT の進化と DX の加速により、あらゆる業種・業態でデジタル活用が不可欠となっています。一方で、サイバー攻撃の手法は日々高度化・巧妙化しており、従来の境界防御だけでは防ぎきれないリスクに直面しています。特にエンドポイントは、業務遂行の最前線でありながら攻撃者にとっては最も脆弱な侵入口ともなり得るため、的確な検知と即応性が求められます。TCS では長年の間、セキュリティ要求レベルの高い証券・金融業界において、豊富な知識と技術で課題解決を支援するソリューションを開発・提供してきました。

今後 TCS は、サイバーリーズン製品である 国内シェア No.1※1 の EDR 製品「Cybereason EDR」をはじめとする、サイバー攻撃の最前線で培ったテクノロジーを集約したプラットフォームとサービスと、TCS が提供するサービス「東証コンピュータシステムセキュリティ SUITE」を組み合わせた総合的な支援を金融業界に提供してまいります。

※1 出典：デロイト トーマツ ミック経済研究所株式会社

2025 年 3 月 27 日発行「外部脅威対策ソリューション市場の現状と将来展望 2024 年度サイバーセキュリティソリューション市場 20 版目」

<https://mic-r.co.jp/mr/03380/>

■「東証コンピュータシステムセキュリティ SUITE」とは

「東証コンピュータシステムセキュリティ SUITE」とは、各種セキュリティツールのログ情報からセキュリティリスクを分析し、金融庁の安全対策基準（統制基準・監査基準・実務基準・設備基準）に沿う内容でオリジナルレポートを提供するサービスです。セキュリティ製品を購入した企業が無償で利用できます。また、定期的な外部脆弱性診断の結果、年一回の社内セキュリティ教育用の教材とテスト一式、最新セキュリティ情報なども無償で提供します。経営層への状況説明や改善施策の提示に活用されてきたシンプルで分かりやすいレポートに、今回の業務提携を機に「Cybereason」シリーズが新たに加わり、サービス内容がさらに充実いたしました。

セキュリティSUITE 製品ラインナップ

 IT資産管理 ・ SKYSEA Client View ・ LANSCOPE ・ ISM CloudOne ・ AssetView ・ System Support best1 (SS1)		 AV/EDR ・ KeepEye ・ Cybereason ・ AppGuard ・ ESET		 メールセキュリティ ・ WISE Audit ・ WISE Alert / 365 Alert ・ HENNGE One E-Mail Security Edition ・ Check Point Harmony Email & Collaboration
 認証管理 ・ onelogin ・ Themis ・ HENNGE One IdP Edition	 印刷ログ管理 ・ PRINT EYE	 個人情報管理 / 名刺管理 個人情報管理 ・ P-Pointer 名刺管理 ・ ホットプロファイル ・ SKYPCE		 クラウドセキュリティ クラウドストレージ ・ Box CASB ・ Netskope

サイバーリーズン 代表執行役員社長 桜田 仁隆より

Cybereason パートナープログラムへの加入ならびに、「セキュリティ SUITE」へのサービス追加いただいたことを喜ばしく思います。今後もますます巧妙化・多様化するサイバー攻撃に対して、「Cybereason Defense Platform」にて、エンドポイント、サーバー、クラウド、ネットワークなど、あらゆる環境のリスクを包括的に検知し対処致します。今後、製品・サービスの更なる強化に取り組み、お客さまのシステム環境における高い投資対効果とセキュリティ対策強化の実現を支援していきます。今回の協業ソリューションを活用いただくことで、金融業界のお客様の高度なセキュリティ対策の実現につながることを期待しております。

TCS 専務執行役員 小谷 知哉 より

昨今のサイバー攻撃は、従来の境界型防御をすり抜け、組織内に静かに侵入し、長期にわたって潜伏・活動する「高度持続的標的型攻撃（APT）」など、巧妙さと執拗さを増しています。こうした脅威に対し、エンドポイントを軸にした防御戦略が重要性を増す中、

TCS の「東証コンピュータシステムセキュリティ SUITE」は、EDR 製品との高い親和性をもって、お客様の防御力を次のステージへと引き上げます。

EDR との連携により、エンドポイントで発生する振る舞いをリアルタイムで監視・解析し、異常の兆候を即座に検知・対応。さらに、「東証コンピュータシステムセキュリティ SUITE」の月次レポートで、運用状況やインシデント傾向を“見える化”することで、ゼロトラスト時代のセキュリティ対策を、より確かなものにしてまいります。

[サイバーリーズン合同会社について]

■サイバーリーズン合同会社 会社概要

社 名：サイバーリーズン合同会社

設立日：2016 年 3 月 9 日

代表執行役員社長：桜田 仁隆

所在地：東京都中央区京橋 1-17-10 住友商事京橋ビル 8 階

事業内容：サイバー攻撃対策プラットフォーム「Cybereason」の日本市場での提供およびそれに付帯する事業

URL： <https://www.cybereason.co.jp>

■「Cybereason」の概要

サイバーリーズンは、米国に本社を置き、40 カ国以上に顧客を持つ非上場の国際企業で、エンドポイントやクラウドなど企業のエコシステム全体を標的にしたサイバー攻撃を終息させるため、XDR、EDR、EPP ソリューションと MDR サービスなどのセキュリティサービスを提供しています。

Cybereason Defense Platform は、進化し続けるランサムウェア攻撃や高度な攻撃手法に対して圧倒的な防御、検知、対応能力をお客様に提供するとともに、すべてのデバイス、ユーザー、システムへの一連のサイバー攻撃をコンテキストに富んだインテリジェンス

(MalOp) として比類のない速度と精度で可視化することで、サイバー脅威データをビジネスにおける実用的な意思決定手段に変えることができます。

[株式会社東証コンピュータシステムについて]

TCS は、1961 年の創業から、証券・金融業界において多くのステークホルダーの皆様のお力添えを頂きながら、システムの運用や開発を中心とした IT の多様化のお手伝いをしてまいりました。半世紀余りの時を経た昨今、証券・金融業界はかつてないスピードで変化しており、国内だけに留まらず世界中のありとあらゆる情報が密接に連携し、更なるボーダレス化が加速する事により、IT インフラの重要性がますます高まっています。変化はチャンスなりの精神で、目まぐるしく変化する証券・金融業界において、『証券・金融取

引に関するインフラを提供し人々を幸せにする』という企業理念のもと、技術と信頼で証券&金融業界のニーズを的確に掴み満足度の高いサービスを提供し、『新たな付加価値を追求&創造する事で、ステークホルダーに必要とされる企業』を目指してまいります。

URL：<https://www.tcs.co.jp/>

【本件に関するお問合せ先】

株式会社東証コンピュータシステム

ソリューション開発部 ソリューション営業課

電話：03-6458-8098

Email：sales-si@tsc.co.jp

サービスページ：<https://www.tcs.co.jp/service/security/securitysuite/>

サイバーリーズン合同会社

部署：パートナー営業本部 第一パートナー営業部 第一チーム

Email：hiroyuki.kishida@cybereason.com

※本リリースについては、サイバーリーズンからも同趣旨の内容が配信される場合がありますのでご了承ください。